



平成 24 年 1 月 20 日

各 位

会 社 名 丸 八 証 券 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長 駒林 秀雄
(J A S D A Q ・ コード 8700)
問 合 せ 先 執行役員マネジメント本部 I R 担当
山田 寿男
電 話 052-307-0850

平成 24 年 3 月期第 3 四半期業績速報値に関するお知らせ

平成 24 年 3 月期第 3 四半期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日）の業績につきましては、1 月 30 日に開示の予定ですが、速報値を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 3 月期第 3 四半期の業績速報値（平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日）

（単位：百万円）

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期（当期） 純利益
平成 24 年 3 月期 第 3 四半期（速報値）	1,930	202	192	172
平成 23 年 3 月期 第 3 四半期（実績）	1,796	53	25	16
増減額	134	149	167	155
増減率（％）	7.5	281.6	662.3	925.1
平成 23 年 3 月期 年間（実績）	2,499	143	95	76

※金融商品取引業の業績は、経済情勢や市場環境の変動による影響を大きく受ける状況にあり、通常の業績を適正に予想し、開示することは極めて困難であります。そのような状況において業績予想を開示することは投資家等に誤認を与えるおそれがあるため、当社は通常の業績予想を開示しておりません。それに代えて、四半期および通期の業績速報値を決算数値が確定したと考えられる時点で速やかに開示いたします。

※上記の業績速報値につきましては、現時点で当社が合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は当該数値と異なる可能性があります。

2. 要因

(1) 営業収益は、低調な国内株式相場の影響により、株式等の委託手数料が4億21百万円（前年同期比49.1%減）となったものの、毎月分配型投資信託の募集の拡大などにより、募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料は10億22百万円（前年同期比124.2%増）、その他の受入手料は投資信託残高の増加に伴い信託報酬が増加し1億74百万円（前年同期比39.5%増）となり、受入手料の合計は16億18百万円（前年同期比14.8%増）となりました。

また、トレーディング損益は2億58百万円（前年同期比18.3%減）となり、その他、金融収益53百万円（前年同期比23.8%減）を加えた営業収益は19億30百万円（前年同期比7.5%増）となりました。

一方、販売費・一般管理費については、継続的なコスト削減努力により、取引関係費は1億77百万円（前年同期比5.7%減）、事務費が3億79百万円（前年同期比1.6%減）となったほか、人件費は9億19百万円（前年同期比0.4%増）、不動産関係費は1億48百万円（前年同期比0.2%増）等となり、販売費・一般管理費の合計は前年同期と比べ17百万円減少の17億8百万円（前年同期比1.0%減）となりました。

この結果、金融費用19百万円（前年同期比11.4%増）を差し引いた営業利益は2億2百万円（前年同期比281.6%増）となりました。

また、投資事業組合運用損11百万円等により営業外費用19百万円を計上する一方、平成21年12月に実施した通信取引事業の事業分離にかかる受取差額4百万円等により営業外収益9百万円を計上し、経常利益は1億92百万円（前年同期比662.3%増）となりました。

(2) 特別損失として第2四半期までに計上した投資有価証券評価損18百万円に加え、当第3四半期会計期間において、新たに投資有価証券評価損15百万円を計上したことにより、合計で34百万円の特別損失を計上いたしました。

一方、特別利益として受取和解金、固定資産売却益等により23百万円を計上し、四半期純利益は1億72百万円（前年同期比925.1%増）となりました。

以 上